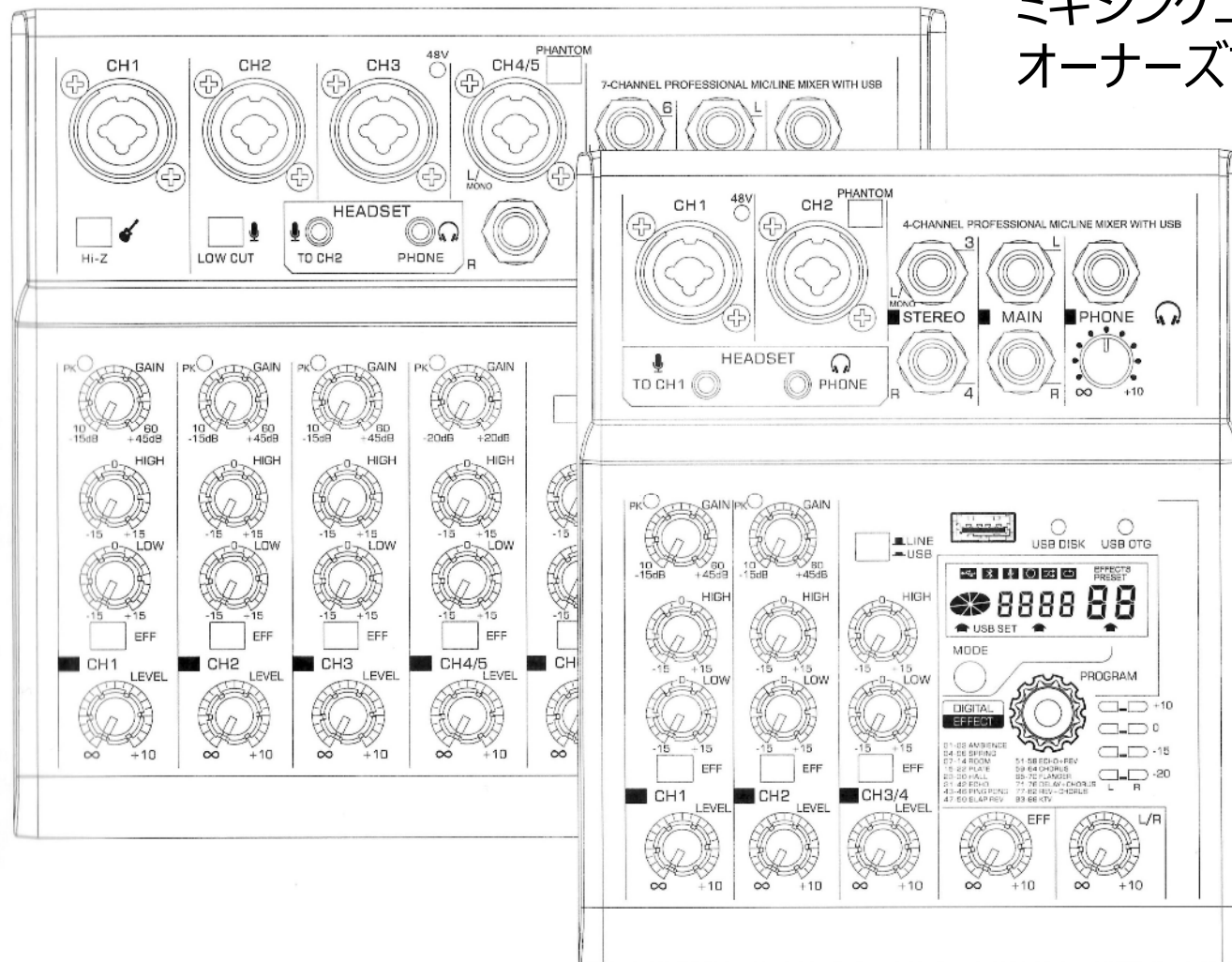


ミキシングコンソール オーナーズマニュアル



使用上の注意

よくお読みになってからお進みください

このマニュアルは大切に保管してください

WARNING

感電、ショート、破損、火災、その他の危険により、重傷または死亡する可能性を避けるため、必ず以下の基本的な注意事項を守ってください。これらの注意事項には、以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- この機器には、ユーザーが修理できる部品はありません。万一、故障と思われる場合には、直ちに使用を中止し、専門のサービス員に点検を依頼してください。

水濡れ注意

- 本機を雨にさらしたり、水辺や湿気の多い場所で使用したりしないでください。また、開口部からこぼれるおそれのある液体が入った容器（花瓶、ボトル、グラスなど）を置かないでください。水などの液体が浸入した場合は、すぐに電源を切り、USB ケーブルをコンピュータから外してください。その後、資格を持ったサービスマンに機器を点検してもらってください。
- 濡れた手でUSBケーブルの抜き差しは絶対にしないでください。

火事に注意

- 本機の上にロウソクなど、燃えるものを置かないでください。燃えているものが倒れ、火災の原因となることがあります。

異常を感じた場合

- 次のような問題が発生した場合は、直ちに電源を切り、USBケーブルをコンピュータから取り外してください。その後、サービスマンに点検を依頼してください。

- USBケーブルにほつれや傷がある。
- 異臭がする、煙が出る。
- 本機の中に物を落とした。
- 使用中に突然音が出なくなった。

- 万一、落下させたり、破損させたりした場合は、すぐに電源を切り、USBケーブルをコンピュータから外して、専門のサービスマンに点検を依頼してください。

CAUTION

感電、ショート、破損、火災、その他の危険により、重傷または死亡する可能性を避けるため、必ず以下の基本的な注意事項を守ってください。これらの注意事項には、以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

設置場所

- 誤って転倒するような不安定な場所に置かないでください。
- 腐食性ガスや潮風にさらされる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 移動するときは、接続されているケーブル類をすべて取り外してください。

接続

- 他の機器と接続する前に、すべての機器の電源をオフにしてください。すべての機器の電源をオン／オフする前に、すべての音量を最小にする。

メンテナンス

- 本機の隙間や開口部に指や手を入れないでください。
- 本機の隙間や開口部に異物（紙、プラスチック、金属など）を入れたり、落としたりしないようにしてください。このような場合は、すぐに電源を切り、USB ケーブルをコンピュータから外してください。その後、資格を持ったサービスマンに機器を点検してもらおう。

- 本機の上に体重をかけたり、重いものを載せたりしないでください。また、ボタンやスイッチ、コネクタに無理な力を加えないでください。
- スピーカーやヘッドホンを長時間、不快な音量で使用しないでください。難聴や耳鳴りを感じたら、医師に相談してください。

不適切な使用や改造による損害、データの損失・破壊については責任を負いかねますのでご了承ください。

注意事項

本製品の故障や破損、データの損傷、その他の物的損害の可能性を避けるため、以下の注意事項を守ってください。

■ 取り扱いと保守について

● テレビ、ラジオ、ステレオ機器、携帯電話、その他の電気機器の近くでは使用しないでください。ノイズが発生することがあります。- パネルの変形、動作不良、内部部品の破損を防ぐため、過度のほごりや振動、極端な寒さや暑さ（直射日光、暖房器具のそば、日中の車内など）にさらさないでください。

● パネルが変色することがありますので、ビニール、プラスチック、ゴムなどのものを置かないでください。

● 本機を清掃するときは、乾いた柔らかい布を使用してください。シンナー、溶剤、洗剤、化学物質が付着した拭き取り布は使用しないでください。

● 本機を移動したり、エアコンの電源を入れたり切ったりするなど、急激な温度変化で結露することがあります。結露したまま使用すると、故障の原因となることがあります。結露が生じたと思われる場合は、結露が完全になくなるまで、電源を入れずに数時間放置してください。

● イコライザーのコントロールやフェーダーは、最大値に設定しないでください。接続機器の状態によっては 接続された機器の状態によっては、ハウリングを起こしたり、スピーカーを破損させたりすることがあります。

● フェーダーにオイルやグリス、接点クリーナーをつけないでください。フェーダーにオイルやグリスを塗ると、電気的接触やフェーダーの動きが悪くなることがあります。

● オーディオシステムのAC電源を入れるときは、スピーカーの 損傷を防ぐため、必ずパワーアンプを最後にオンにしてください。電源を切るときは、パワーアンプを先に切ってください。

● 長時間使用しないときは、スイッチをスタンバイにしてください。

■ 接続

XLRタイプのコネクタの配線は、1番ピン：グランド、2番ピン：ホット（+）、3番ピン：コールド（-）となっています（IEC60268規格）。

インフォメーション

■ このマニュアルについて

- 本書に掲載されているイラストは、説明のためのものです。

- SteinbergおよびCubaseは、Steinberg Media Technologies GmbHの登録商標です。

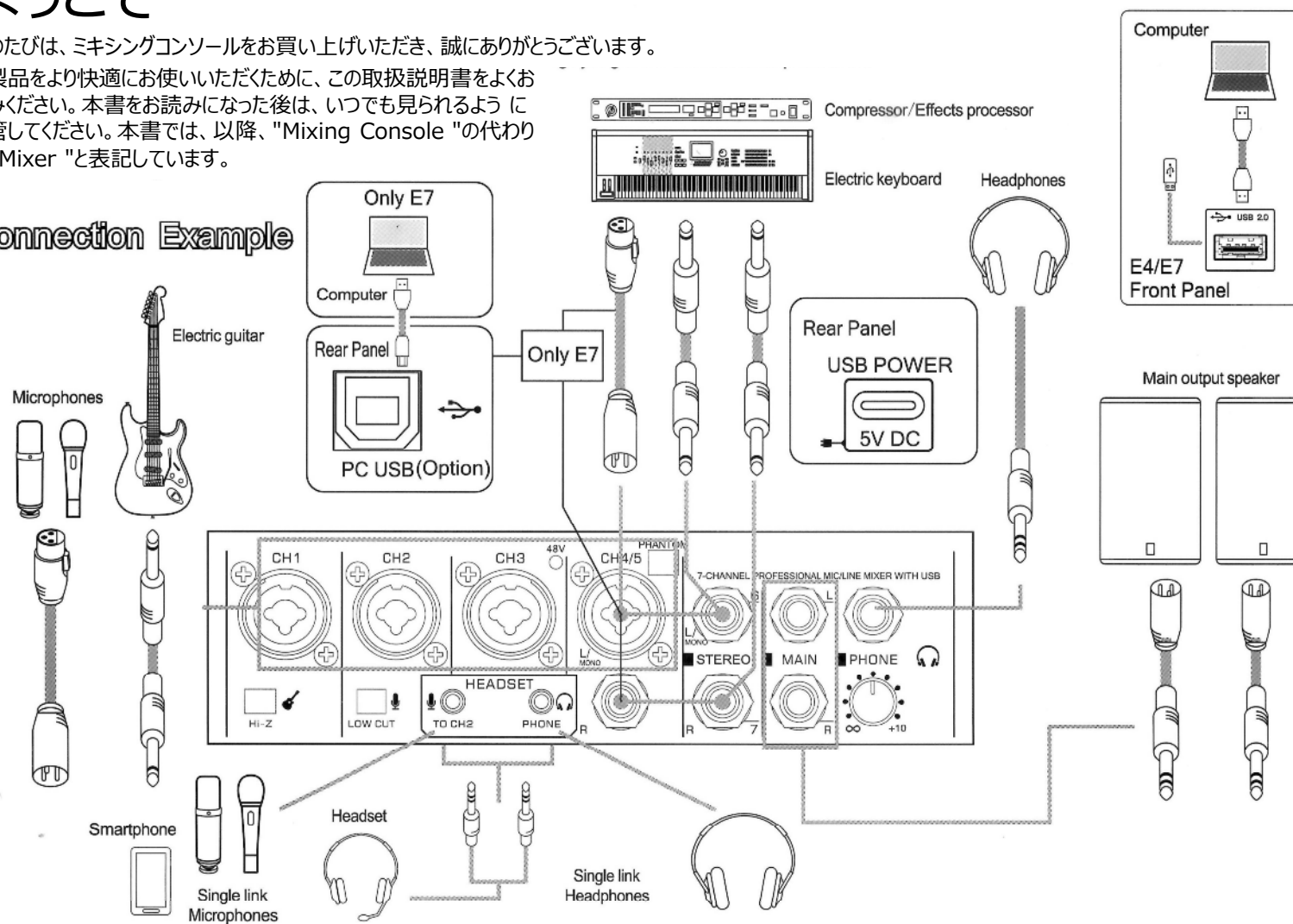
- 本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

ようこそ

このたびは、ミキシングコンソールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をより快適にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。本書をお読みになった後は、いつでも見られるように保管してください。本書では、以降、"Mixing Console" の代わりに "Mixer" と表記しています。

Connection Example

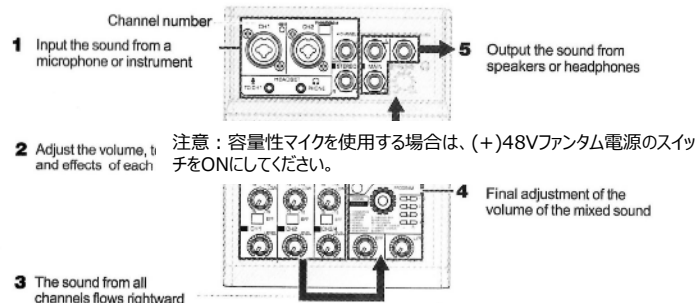


主な機能

オーディオインターフェース搭載の多目的4チャンネルミキサー。

- USBレコーディング機能搭載。
- 高音質ループ再生機能により、演奏やネット配信がより便利になります。
- スーパーアンプ搭載により、高精度なサウンドを実現。
- Bluetooth接続。

1. ミキサーの基本。音の流れ



Note: if capacitive microphone is used, please turn on the switch of (+)48V phantom power supply.

2. 基本操作 電源の投入

1. 本機のすべてのスイッチがオンになっていないことを確認し、リアパネル電源のTYPE-Cデータ線が挿入されていないことを確認します。
2. 付属のTYPE-Cデータラインを接続します。
A: TYPE-Cデータケーブルのプラグをデバイスのバックパネルインターフェースに合わせ、挿入してください。
B: TYPE-CデータケーブルがUSB電源アダプタに接続されている。
C: 電源アダプターを標準（～AC 100-240 50Hz/60Hz）の電源ソケットに差し込みます。

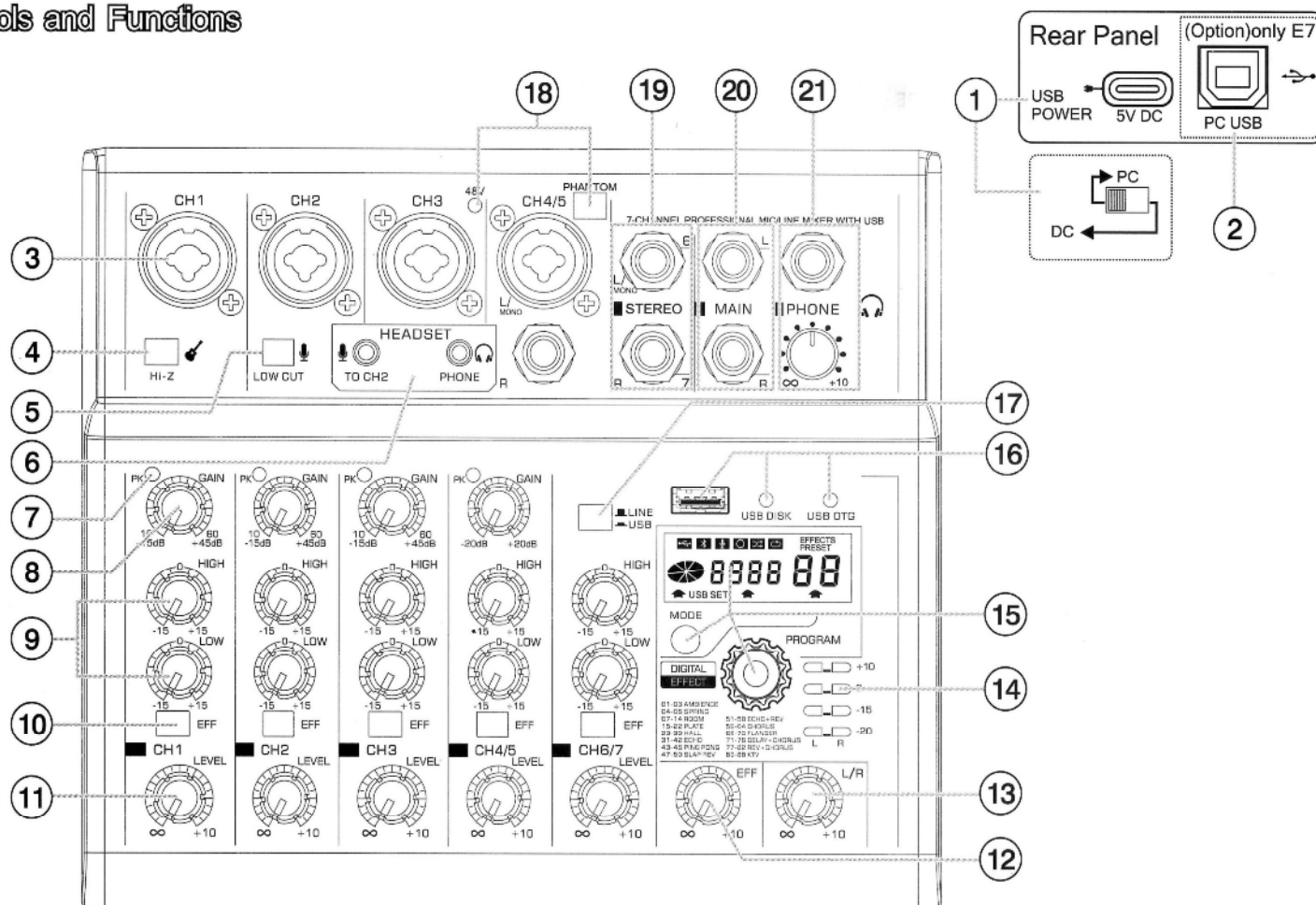
Rear Panel

USB POWER



[TYPE-C]
Power connection input

Controls and Functions



①[TYPE-C]電源入力ソケット

ミキサーの電源供給用USB電源アダプタとTYPE-Cデータケーブルを接続するために使用します。

注意事項

- 使用するUSB電源アダプターおよびTYPE-Cデータケーブルの安全に関する注意事項をよくお読みください。

- USB電源アダプタとTYPE-Cデータライン 電圧規格。

出力電圧：4.8V～5.2V

出力電流：3A以上

PC/DCスイッチ

接続モードの切り替え パソコンに接続する必要がある場合は、スイッチをパソコン側に引き、パソコンとゲーム機の間で信号を転送します。

②PC USB 2.0(E7のみ)-オプション

USBケーブルでパソコンと接続し、ミキサー信号をパソコンに転送します。パソコン側で入出力用のUSBドライバが必要な場合があります。ドライバは、仕入先のホームページまたは当社のホームページからダウンロードしてインストールできます。

company's website.

③3 MIC/LINE

マイク、楽器、オーディオ機器との接続用です。XLRとフォーンプラグの両方に対応しています。

both XLR and phone
plugs.



④4 HI-Z(CH 1-4) E7のみ

DI ボックスを使用せずにギターを直接ミキサーに接続する場合は、まずこのスイッチを押し込んでから、ギターからの出力をチャンネルの 1/4 インチ TRS インプットに接続してください。入力インピーダンスはダイレクト接続に最適化され、高域の忠実度は保証されます。アウトポジションにすると、チャンネルの 1/4 インチ TRS 入力、他のモノラルのライン入力と同様にライン入力となります。他のチャンネルでギターやその他の楽器を使用する場合、まず外部DL ボックスを使用する必要があります。DIボックスを使用しない場合、またはこのスイッチを押し込まない場合、ギターの音が鈍くなったり、濁ったりすることがあります。

⑤LOW CUT E7のみ

LOW CUTスイッチは、HPFのオン/オフを切り替えます。HPFをオンにするには、このスイッチ（凹）を押します。HPFは、100Hz以下の周波数をカットします。マイクに向かって話すときは、このスイッチをオン（凹）にして、マイクを立てるようにするとよいでしょう。不要な振動や息の音を極力拾わないようにします。（STEREO 4/5、6/7のライン入力には、HPFは適用されません）。

このモデルは、ミキサー機能を導入していますが、これは私の最初のビデオです、plsは私に任意の提案を与えるか、あなたが質問を持っている場合、私はあなたのためにu、welcome.thanksを返信します。

⑥[HEADSET]マイク[]入力端子

ヘッドホンのマイクを接続します。ここで入力された音声は、チャンネル1に送られます。

[ヘッドセット]ヘッドホン[]出力端子

ヘッドセットのヘッドホンに接続します。ヘッドホン[]出力端子21と同じ音声が出力されます。

⑦PEAK LED

入力音の音量が大きすぎるときに点灯します。点灯している場合は、(GAIN)ノブ8を左に回して音量を下げてください。

⑧GAIN

チャンネル1の基本音量を設定します。歌や演奏の音量が最も大きくなったときに、[PEAK]LEDが短く点滅するように調整します。

⑨ EQ (イコライザー)

[HIGH]、[MID]、[LOW]ノブで音質を調整します。音質調整が不要な場合は、O（フラット）に設定してください。

⑩ EFFECT

これらのボタンは、各チャンネルのエフェクトをオンにし、音に自然な拡がりを持たせます。初期設定はリバーブがオフになっています。

⑪ LEVEL

チャンネル信号のレベルを調整します。ノイズを抑えるため、未使用のチャンネルのツマミは最小にします。
を最小にします。

⑫ エフェクトレベル

内蔵エフェクターからバスに送られるエフェクトレベルを調整します。

⑬ MAIN OUT

MAIN OUT]端子に出力される信号のレベルを調整します。

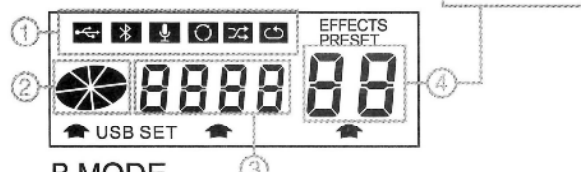
⑭ レベルメーターLED

レベルメーターは、[MAIN OUT]ソケットからの出力信号のレベル（音量）を6段階で表示します。"+10", "0", "-15", "-10", "-20" です。PEAK "ランプが赤く点灯している場合は、[MAIN L/R LEVEL]ノブを左に回して音量を下げてください。

⑮ ディスプレイ/モード/プログラム

A.DISPLAY

1. Function 表示
2. 動作状態またはBluetooth接続状態の表示
3. 曲の時間表示/曲数表示
4. エフェクトの種類(右のエフェクト一覧をご参照ください)

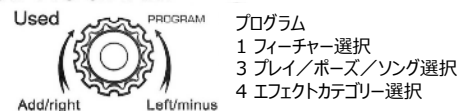


B.MODE

B.MODE

- ①機能の切り替えに使用します。③プレイバック、④エフェクト

C.PROGRAM



選択したトラックを回転させ、ダイヤルを押して現在の選択内容を確認します。

操作方法

A. [PLAY MODE] (キーを軽くタッチする) : 短く押す : エンコーダーの操作機能を選択し モードスイッチ、プレーヤー操作、エフェクトタイプスイッチ、白い矢印が対応する機能を示します。矢印は対応する機能を示しています。

B. [PLAY MODE] (キーを軽く押す) : 長押しする。

1. 録音モードまたは録音停止状態で、録音ファイルを再生するモードに入ることができます。
2. 非録音モードでは、録音したファイルを再生するモードに素早く入ることができます。

C. [PROGRAM]キー (エンコーダーキー) : 短押し

1. 白い矢印が左側 (モードスイッチ) にあり、モードアイコンが点滅しているときは、必ず現在点滅している表示モードに切り換えてください。
2. 白い矢印が中央 (プレーヤー操作) にあるとき、実行または一時停止 (再生と録音を含む) を制御する。
3. 3. 白い矢印が中央 (プレーヤー操作) にあり、ロータリーエンコーダーで事前に選択した再生トラックが有効である場合、現在の対応する曲を再生することを確認します。

D. [PROGRAM] (エンコーダーキー) : 長押し

1. 白い矢印が真ん中にあり (プレーヤー操作)、制御が停止します。(再生、録音を含む)。
2. 白い矢印が真ん中にある (プレーヤー操作)。録音が停止しているときは、録音ファイルを再生するモードになります。
3. 白い矢印が真ん中 (プレーヤー操作) です。Bluetoothモードでは、現在接続しているBluetoothの接続を解除することができます。

E. [PROGRAM] エンコーダー

1. 白い矢印が左側 (モード切替)、モードがあらかじめ選択され、対応するモードアイコンが点滅します。Uディスク/サウンドカード、Bluetooth、録音、シーケンシャル再生、ランダム再生、シングルループ ([PROGRAM] キー短押しで切り替え確認) です。
2. 白い矢印が真ん中にあります (プレーヤー操作)。UディスクまたはSDカード再生時に再生しているときは、再生トラックをあらかじめ選択します。
3. 3. 白い矢印が中央 (プレーヤー操作) にあるとき、Bluetooth、サウンドカード、録音ファイルを再生しているときは、前後の曲を切り替えます。録音ファイルを再生しているときは、前の曲/次の曲を切り換えます。
4. 4. 白い矢印が右 (エフェクトタイプ切替) で、エフェクトの種類を切り替えます。

F. USBメモリーの録音ファイルを再生しているときは、USBメモリーと録音ファイルのアイコンが同時に表示されます。F. USBメモリーの録音ファイルを再生すると、USBメモリーと録音のアイコンが同時に表示され、指示ができます。

⑯USB

USB フラッシュドライブとコンピュータの接続に使用します。(パソコン録音対応)

対応機種：MP3またはWAV/WMA/FLACまたはUSBオーディオデバイスとして使用可能



USBフラッシュドライブ接続時、USB DISKランプが点灯します。THE USB OTGライトは点灯しています。

⑰USB/LINE

USB 接続時はスイッチ（凹）を押し、⑲6/7 LINE 入力端子にLINE 信号を出力する楽器を接続した場合はスイッチを OFF（凸）にします。

⑱ファンタム／+48V LED

このスイッチをオン（凹）にすると、[+48V] LEDが点灯し、MIC/LINE入力端子⑥のXLRプラグにDC +48 Vファンタム電源が供給されます。ファンタム電源を使用するコンデンサーマイクを使用する場合は、このスイッチをオンにします。

注意

ファンタム電源が不要な場合は、必ずこのスイッチをオフ（凸）にしてください。このスイッチをオンにした場合、ノイズの発生や外部機器、ミキサーの故障の原因となりますので、以下の注意事項を守ってください。

1. ファンタム電源非対応の機器をチャンネル1に接続する場合は、必ずこのスイッチをオフ（凸）にしてください。
2. チャンネル 1 にケーブルを接続／取り外すときは、必ずこのスイッチをOFF（凸）にしてください。
3. チャンネル1のフェーダーを最小にスライドさせてから、このスイッチをオン（凹）／オフ（凸）にしてください。

⑲LINE

電子キーボードやオーディオ機器など、ラインレベルの機器を接続するための端子です。モノラル出力の楽器などには、チャンネル6の[L/MONO]ジャックを使用します。

この場合、[L/MONO]端子に入力された音は、ミキサーのLチャンネルとRチャンネルの両方から出力されます。GUITAR/LINE]スイッチ17がON(凹)のときは、このジャックは無効です。

⑳MAIN OUT

ステレオミックスの信号を出力するバランス型XLRおよびTRS出力端子です。STEREOマスターフェーダーで調整した信号が出力されます。メインスピーカーを駆動するパワーアンプに接続します。

㉑21 PHONES

ヘッドホンに接続するためのものです。ソケットはステレオフォンプラグに対応しています。ミニプラグのヘッドホンや耳栓などを接続する場合は、スイッチデバイスを使用して接続してください。

PHONE KNOB ヘッドホン出力端子に接続したヘッドホンおよびパワードモニター用スピーカーの音量を調整します。

General Specification

0 dBu=0.775 Vrms, 0 dBV=1 Vrms

If no pin is specified, all pins will be set to the nominal position.(nominal position adjusted to 10 dB below maximum) Signal generator output impedance (Rs)=100 ohm, output load impedance =100k ohm (TRS phone type output)

	INPUT \ OUTPUT		CHANNEL		STEREO
			MIC	LINE	LINE
GAIN (0dBu)	GAIN (0dBu)		0~50	-20~30	10~20
	PHONES OUT	MAX (ALL MAX)	81	61	31
		0dB (GAIN Control at 0dB)	0	-10	10
	MAIN OUT	MAX (ALL MAX)	74	54	24
		0dB (GAIN Control at 0dB)	0	-20	10
Signal to Noise Ratio		MAIN OUT	76	81	82
		PHONES OUT	76	81	83
Noise (Control at MIN)		PHONES OUT (Control at 0dB)	-88		
		STEREO OUT (Control at 0dB)	-88		
		STEREO OUT (Control at MIN)	-100		

The contents of this manual are the latest technical specifications at the time of printing. As the product will continue to improve, it is possible that the specifications in this manual are not in conformity with your product specifications. Please go to the website to download the latest version of the manual. Technical specifications, equipment or accessories may vary from region to region, so please check with your local distributor if you have any questions.